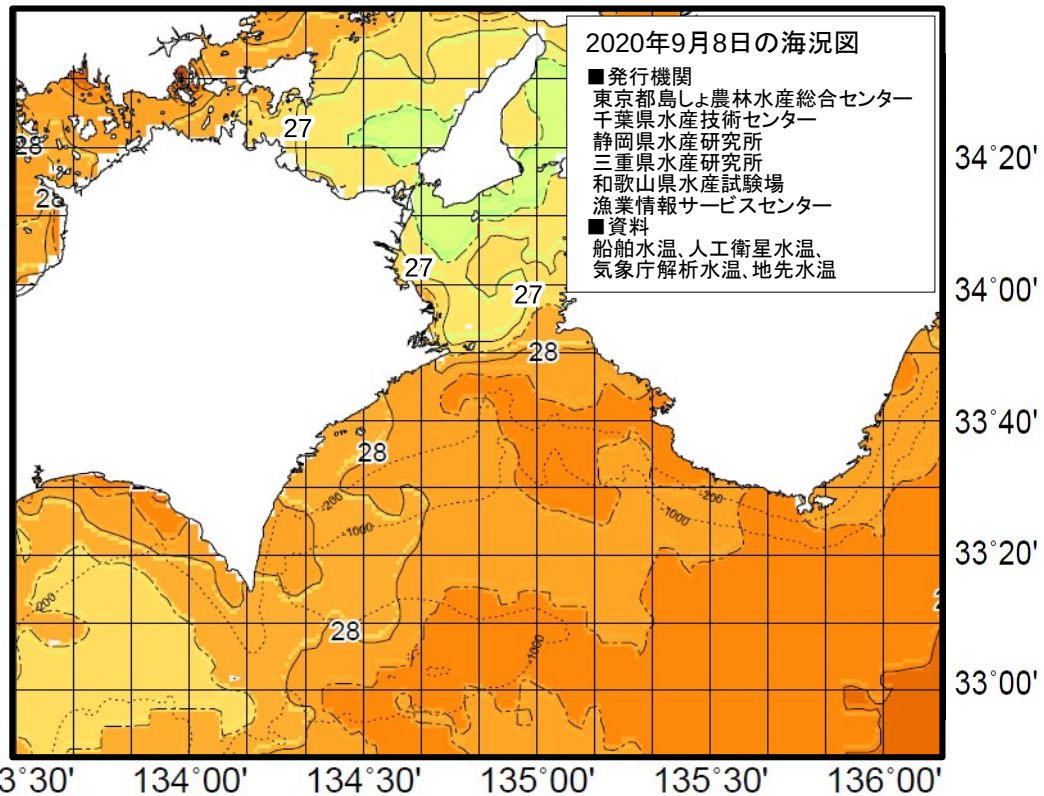


海況

1. 周辺海域の水温等

黒潮は、室戸岬沖で「へ」の字形に屈曲しており、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖では「著しく離岸」して流れている。黒潮の表面水温は28℃～29℃台。

徳島周辺海域の水温は、播磨灘と紀伊水道で26℃～27℃台、海部沿岸でおおむね28℃～29℃台となっている。



2020年9月8日の海況図
 ■発行機関
 東京都島しょ農林水産総合センター
 千葉県水産技術センター
 静岡県水産研究所
 三重県水産研究所
 和歌山県水産試験場
 漁業情報サービスセンター
 ■資料
 船舶水温、人工衛星水温、
 気象庁解析水温、地先水温

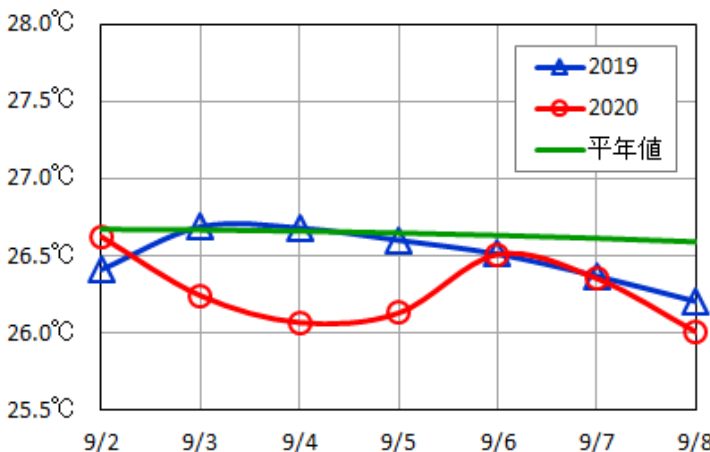
※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
 直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

2. 地先水温(2020年9月2日~9月8日)

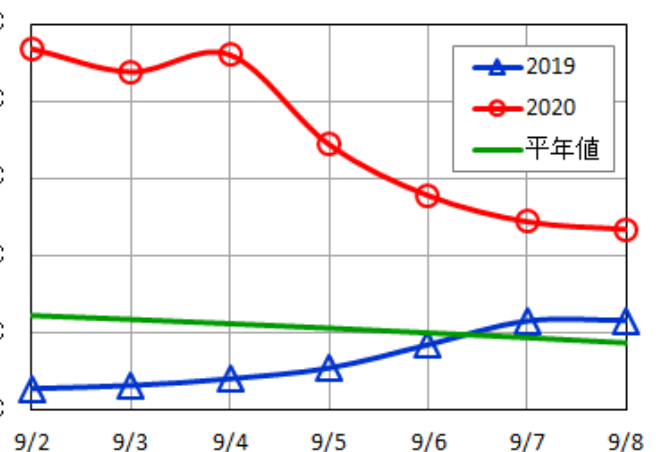
鳴門地区の水温は、「やや低め」~「平年並み」の26.0~26.6℃で推移した。

日和佐地区の水温は、「高め」のち「やや高め」で、28.8℃から27.7℃まで下降した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(9月9日~9月15日)

黒潮は、室戸岬沖は「離岸」~「著しく離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」で推移する見込み。

鳴門地区の水温はおおむね「平年並み」、日和佐地区の水温は「やや高め」~「平年並み」で推移する見込み。

漁況 2020年8月31日～9月6日

台風9号（9月2日最接近）、10号（9月7日最接近）の影響による波浪のため海部沿岸では操業が低調で、水揚げが少なかった。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが187.5ト水揚げされた。

延縄では、サワラが大きく増えて2kg級主体に4.4ト、ハモが大きく減って中主体に1.8ト、タチウオが大きく減って特大主体に0.8ト水揚げされた。

小型定置網では、ニザダイが大きく増えて1.3ト、イサキが増えて大主体に0.8ト、チダイが大きく増えて中主体に0.6ト、ブリが大きく減ってつばす級主体に0.5ト、カンパチが増えて0.4ト、マダイが0.3ト、マアジが小小主体に0.3ト、マサバが大きく減って小小主体に0.2ト、メイチダイが増えて0.1ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが中主体に7.6ト、えそ類が減って0.5ト、マダイが増えて0.2ト、タチウオが減って特大主体に0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

延縄では、アカムツが大きく減って0.2ト水揚げされた。

釣りの操業および水揚げは少なく、小型定置網は操業が無かった。

漁獲量集計表（漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	75	シラス	187,500	2,500		→
	延縄	51	サワラ	4,449	87	2kg級主体	↗↗
		21	ハモ	1,798	86	中主体	↘↘
		37	タチウオ	797	22	特大主体	↘↘
	小型定置網	11	ニザダイ	1,292	117		↗↗
		13	イサキ	775	60	大主体	↗
		12	チダイ	645	54	中主体	↗↗
		11	ブリ	452	41	つばす級主体	↘↘
		13	カンパチ	364	28		↗
		13	マダイ	334	26		→
		12	マアジ	318	26	小小主体	→
		8	マサバ	230	29	小小主体	↘↘
		13	メイチダイ	103	8		↗
		底びき網	33	ハモ	7,566	229	中主体
	24		えそ類	528	22		↘
	20		マダイ	211	11		↗
21	タチウオ		165	8	特大主体	↘	
海部沿岸							
	延縄	16	アカムツ	238	15		↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘